

むすびめ通信

Musubime works for the better society

Bible:エペソ人への手紙4:16



湯本沙友里 ニュースレター

Vol.014 2022年12月発行



アカコ村の子どもたちと

エチオピア訪問報告

いつもこの通信をご覧になり活動を支えてくださっている皆さまに感謝いたします。今年は約3年ぶりにエチオピアを訪問することができました。急激に進む経済発展と都市開発によって、街並みは毎度驚くほど変わっていくのですが、毎回「お帰り!」と言って歓迎してくれる仲間たちの家族のような愛情に触れると、離れていた時間があっという間に埋められていく気持ちにさせられます。

2013年の初渡航から、国際援助団体や開発、研究、ビジネス、学生育成や宣教活動など様々な分野の方との出会いがありました。私はそのような中でもとても小さな活動をしている者だといつも思われるのですが、継続することで与えられてきた出会い、素晴らしい経験・能力や志しを持った同労者達との繋がりの中で動いていることは大きな恵みです。

今回の渡航ではこれまでの活動の実を見ることもできました。それらは日本から想いを寄せて共に活動を担ってくださる皆さんの支えがあったからこそです。感謝いたします。

本号では、2021年にコロナの影響によって浮き上がった貧困家庭の子どもたちの教育への取り組みについてご報告いたします。



楽しかったエチオピアの食事、インジェラ

エチオピアの教育格差改善に、一緒に手を差し伸べませんか？

Dream to Shine Free schooling project 【輝く夢学校】



人口約1万人のオロミヤ州アカコ村には、オロミヤ語とアムハラ語という2つの別の言語で話す人々が住んでいます。元々オロミヤ語の人々の地域なのですが、首都のアディスアベバの地価が高騰しているためアムハラ語だけを話す人たちも、土地の安いこの村へ移り住み始めました。標高3,000mに位置するアカコ村と首都の標高差は約800mあり、インフラ整備が行き届いておらず不安定な気候の住みにくい土地です。首都から近いのですが行き来には時間がかかります。

アカコ村の子ども達の学校事情

村内にはオロミヤ語で授業をする公立学校が1校しかなく、アムハラ語しか話せない子どもは授業に参加することができません。そのような子どもたちが学校に行くためには村内の私立校へ学費を納めて通うか、バスで片道1時間以上かけてアディス市内の公立校に通うしかありません。この地域の貧しい人々にはいずれの支払いも難しく、学業を続けたい子は13歳になると放課後や夏休みに毎日仕事をして家に帰るのが一般的です。

コロナ禍で見えてきた問題

公立校の通学日数に規制がかかり、密になるバス通学を避けるために通学を断念せざるを得ない子たちが出てきました。一度学ぶことを辞めてしまうと勉強に追いつくのに時間や労力がかかるため復学が難しくなります。アカコ村にある私立校の教師デレジェから、その状況に手を差し伸べたいと相談がありました。村で唯一の大卒者で、アムハラ語とオロミヤ語の両方を話すことができ、スウェーデンのバイブルカレッジの留学経験もある彼ですが、貧しい家庭に生まれ、5歳の時に両親を亡くし、預けられた親戚から虐待を受けました。そこから逃げるように路上生活をしていましたが、NGOの支援に助けられて成長し、社会人になってからはエチオピアの子どもたちの貧困問題に仕える使命を持ってこの村に住みながら働いています。2021年2月からは日本にいる湯本とリモート協働で放課後や夏休みに無料で通える補習学校(Dream to shine free school)を開始しました。勉強を教えると共に、子どもたちが夢に向かって学びを続けていくことができるよう、地域の大人たちとも信頼関係を築いています。



今回は学校や村の様子を伺いながら絵画授業も行ってきました。12歳までの子どもを対象とした授業には教室いっぱい約25名の子どもたちが毎日学びに来ていました。その様子を見た保護者から正式に学校への入学の申込もありました。

みなさまからのご支援を必要としています

都市部では子どもの教育にお金をかける人たちが増えている一方、田舎では教育の意義が分からずに辞めさせてしまうことも多く教育格差が広がっています。アディスアベバのストリートチルドレンのほとんどは農村部からやってくるため、路上生活になってしまう前に予防したいというのが私たちの願いです。一時的な支援でなく教育の大切さを地域全体に伝えながら子ども達を支え続けることで長期的に豊かな実を結ぶと信じています。引き続き、皆様からのお祈りとご支援を戴けますと幸いです。



報告会訪問 (10～11月)

北海道登別市、茨城県古河市・境町、栃木県佐野市、愛知県名古屋市等で報告・講演会を開催していただきました。市民団体、こども園、学校、ロータリークラブ、キリスト教会など、様々な場でお話しする機会がありました。報告会の楽しみの一つは、訪問先の方々が長年地域で取り組んで来られたことや大切にしていることを分かち合って頂く時間です。地域の方々との繋がりを紹介してくださったり、これまでの経験や乗り越えてきたこと、奮闘されていることを聞かせていただけることは貴重な学びになっています。

次回の渡航は来年5月頃を予定していますので、それまでに開催していただける方がいらっしゃいましたらご一報頂けると感謝です。



Ethiopian cross エチオピアの商品販売 「あいち×エシカルマルシェ」に出展 (名古屋)

消費者が消費行動を変え、他の人や社会、地球環境、自然にとってもよいものを選択的に選んでいくことで地球環境や社会問題の解決の一端を担う「エシカル消費」という考えが日本でも広がっています。11月12日愛知県でも、持続可能な社会の実現に向けたエシカル消費を普及啓発するイベント「エシカル×あいち」が開催されました。私もエチオピアの貧困問題改善に繋がる商品販売と活動紹介のために出展をさせて頂き、多くの方が足を運んでくださいました。お手伝いに来てくださったり久しぶりに会いに来てくださった方もいたり大変励まされました。ご来場された方、そして長くこの働きを支えて下さってる皆さまに改めて感謝いたします。



新商品入荷!

オンライン・ショップ
【エチオピアン・クロス】

<https://ethiopia.handcrafted.jp/>



エチオピアの売春女性やシングルマザーの支援や就労につながるストールやアクセサリーなどを販売しています。

連絡先

湯本 沙友里 Sayuri Yumoto

Email: sayuri@karashi.net

WEB: <https://www.musubime-works.com/>
ホームページからも活動報告をご覧いただけます。



支援のための寄付方法

支援をもってご協力くださる方はお手数ですが下記の口座にお振込みください。報告はニュースレターにて随時お知らせしますので、配信ご希望の方はご連絡ください。

①ゆうちょ振替口座

口座番号：00830-9-137685

名義：湯本沙友里

他行等から 店名：〇八九店 当座 0137685

②ゆうちょ振替口座

口座番号：00180-0-300201

名義：FVI

★通信欄に「湯本 エチオピア指定」とご記入ください。

支援金はどちらの口座も同様に活動に関わる経費に充てられます。支援者の方へは年度ごとの会計報告をお送りしていますので、ご確認ください。

FVI名義の口座では、湯本が所属する非営利団体「声なき者の友」の輪を通して税理士より監査を受けて年次報告いたします。